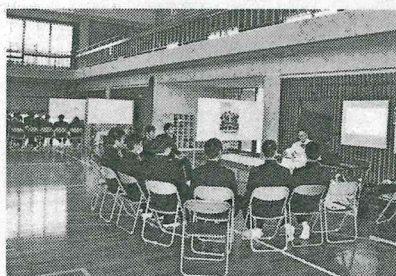


1 団体、企業 12 社が参加

東予高校でマッチングフェア行う

「次代を担う地域産業技術者育成事業」の一環として、東予高校で企業と生徒とのマッチングフェアが7日に開催され、東予地区の1団体と企業12社が参加した(写真)。

高校生が地域産業に対する理解を深め、進路を選択する際の適切な判断能力を養うために県が推進する事業。千葉昇校長



は冒頭のあいさつで「企業と触れ合える貴重な機会。疑問に感じたことはどんどん質問し、互いの理解を深めてほしい」と述べた。

1・2年生166人が

参加。体育館の他、本館3階と4階の教室にもブースが設けられ、各企業担当者が約15分間、訪れた生徒に事業内容などを詳しく説明し、生徒も真剣に耳を傾けていた。

参加団体・企業は、愛媛県空調衛生設備業協会、安藤工業、渦潮電機、大亀製作所、越智電機産業、ガルパ興産、キクノ西条工場、西電、四国積水工業、四国テクニカルサービス、四国電力、白石木材商工、日新製鋼、丸三産業(MCT西条)。